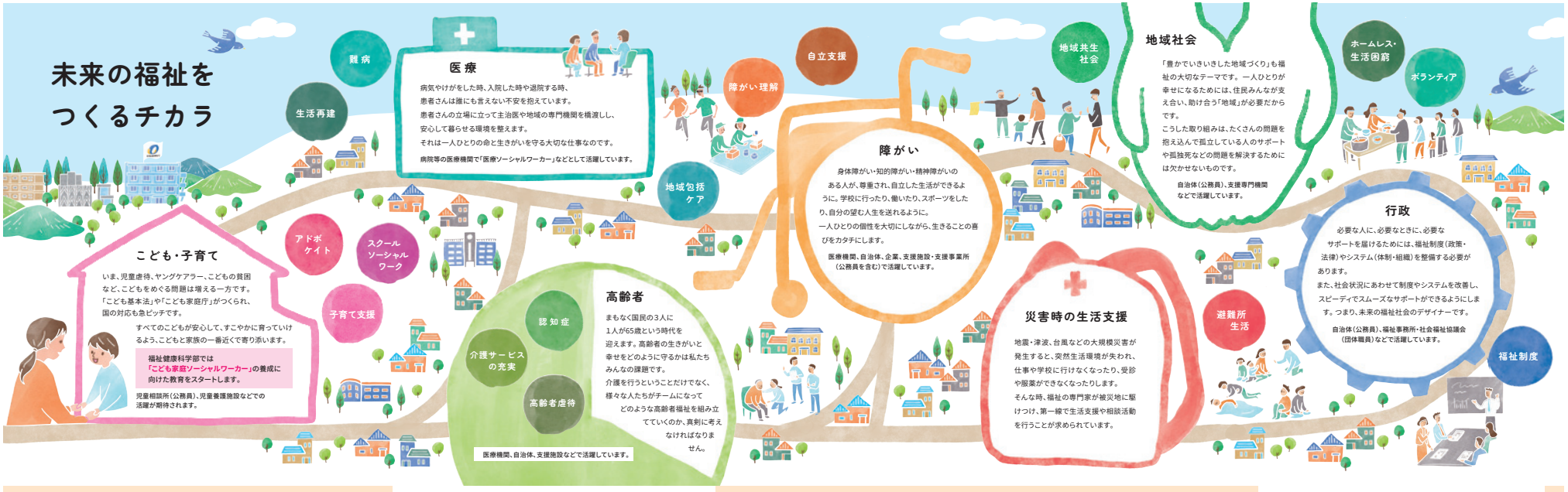

MESSAGE

「こどもと子育てのために」

こども家庭福祉

児童虐待のニュースに心を痛めている人は多いでしょう。大分大学では、ソーシャルワークの視点から、「虐待を受けたこどもへの対応」「子育て支援」「こども家庭福祉の仕組み」などについて学びます。

すべてのこどもの幸せのために、是非一緒に勉強しましょう。学ぶ内容はいずれも、これから大人になる皆さんの人生を豊かにしてくれることでしょう。

「患者さんをサポートする」

医療福祉

思いもかけない病気やけがで今までの生活が一変することがあります。生まれた時から病気や障がいと共に生きている人たちがいます。

大分大学では、あたりまえの生活や社会を疑って、今までとは違った側面から見ることを学びます。そして、「患者さんをサポートする」ための知識や技術を学ぶことができます。その時間を皆さんと共有することができればとても嬉しいです。

「障がいのある人の支えに」

障がい児・者福祉

障がいには、様々な種類があります。目が見えない人には、白杖や盲導犬。耳が聞こえない人には、手話や要約筆記など。皆さんが普段から目にするご高齢の方々も困難さを抱えている場合が少なくありません。

障がいに対する理解とその対応は地域社会における大きな助けになります。共に地域で暮らす者として、障がいの理解を深めたいと思います。

「生きやすい地域をつくる」

地域福祉

地域福祉の魅力とは、どんなことでしょう？ それは、一人では乗り越えられない問題を、誰かと協力して乗り越えられること、他者との違いを認め、私が私らしくいられる環境づくりに貢献できることではないでしょうか。

大分大学では、県や市町村の社会福祉行政、地域福祉実践の場で学ぶ機会が多くあります。志高く、共に学び、実践しましょう。

「高齢者の生きがいのために」

高齢者福祉

一般に過去は変えられないとされますが、そうとは限りません。なぜならば、過去は自分がどう評価するかによって変わってくるからです。

高齢期の「今」が幸せならば、「過去」も肯定的に評価されるのです。例えば「あのとき苦労したから今がある」といったことがありますね。このように、高齢者の「今」を支援することは、「過去」も含めたその方の人生全体に作用するやりがいがある仕事です。

「心の豊かさを考える」

精神保健福祉

メンタル不調はどんな時代・社会でも、誰にでも起こりえます。しかし、メンタル不調による生きづらさは、社会のありようによって異なります。つまり、生活を支える仕組みの有無や使い勝手によって、自分らしく暮らす当たり前の権利が左右されるのです。

精神保健福祉を個人の問題でなく、社会との関係の中で考え、解決策を考えたり、生きやすい社会を作っていきましょう。

「福祉社会のプランナー」

福祉制度・政策

社会に福祉の制度や政策を打ち立てていく時には、人びとの生活に寄り添うことができ、人権・権利に精通した専門家やプランナーが必要になります。

これまで多くの先人たちが、様々な思いのもと、生涯をかけて福祉制度・政策を充実させてきました。その後に続くのは皆さんです。福祉制度・政策の歴史と現状を学び、今後についてともに考えていきましょう。